

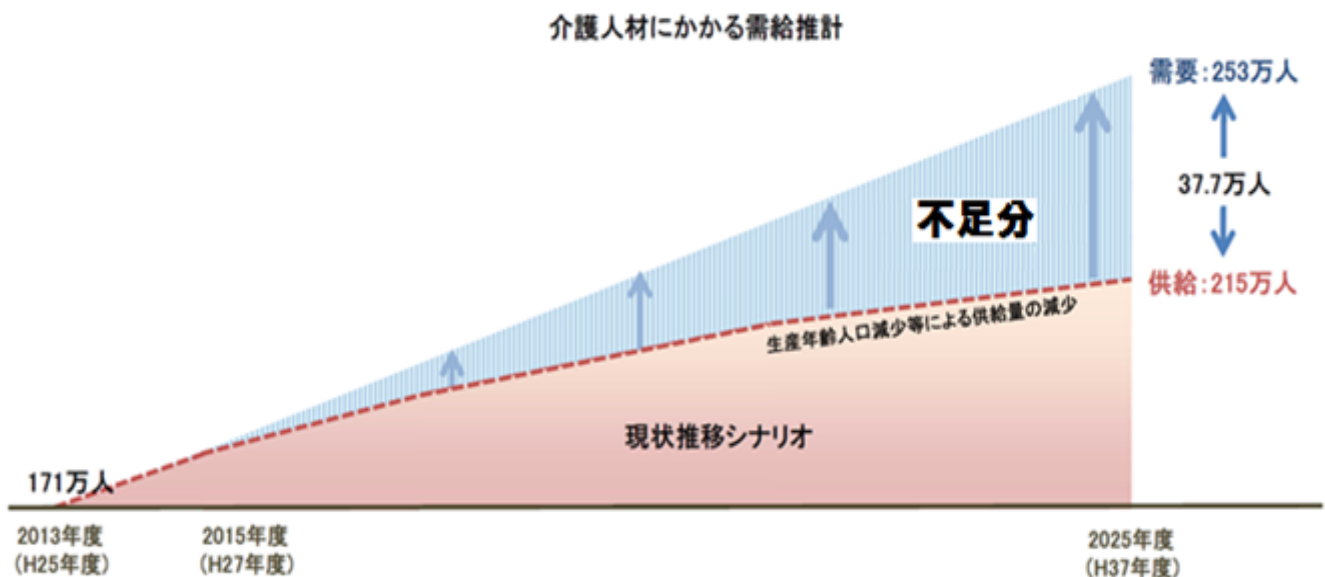
④介護人材の確保について

高齢化が進展する中、厚生労働省の推計によると、2025年度に必要な介護職員は全国で253万人の見通しで、今後予想される介護職員の増員数と比較すると約38万人が不足する恐れがあるとわかり、本市でも介護人材を確保するための施策が求められています。

この調査は、介護の仕事について、市民の皆さまがどのように考えられているかをおたずねし、今後の施策推進の参考にさせていただくものです。

※質問中の「介護の仕事」とは、老人ホーム等の施設やご自宅において、食事や入浴、その他の日常生活に必要な介護を行う仕事のことを言います。

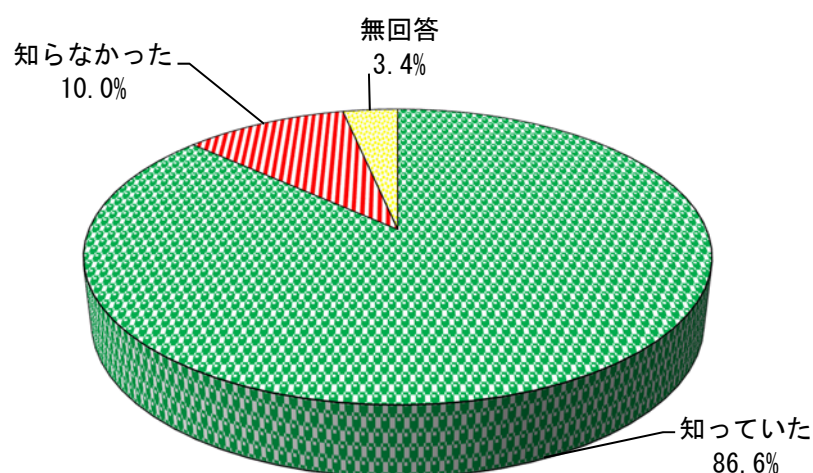
平成27年6月24日に厚生労働省が公表した「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)」において、介護人材の不足の恐れが指摘されています。



※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

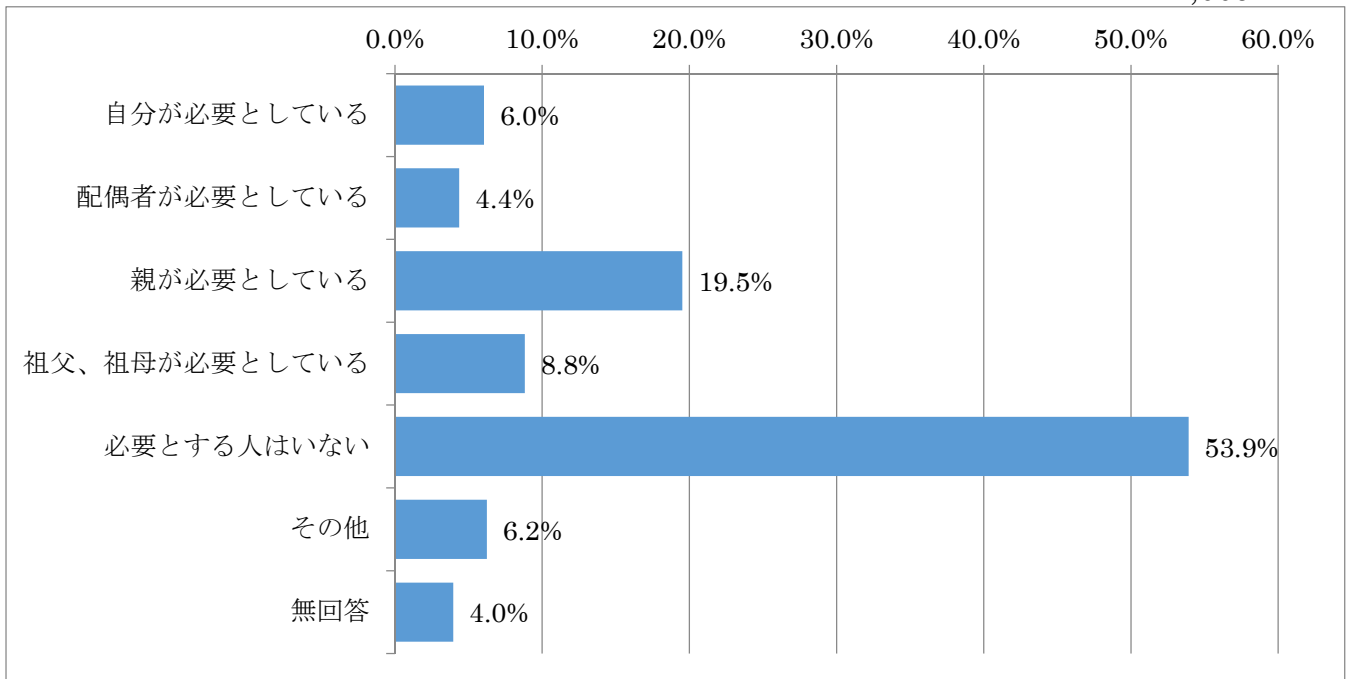
問 31 あなたは、介護人材が不足することを知っていましたか。(○は1つだけ)

N=1,009



問 32 あなたの身近に、介護を必要とする人はいますか。(〇はいくつでも)

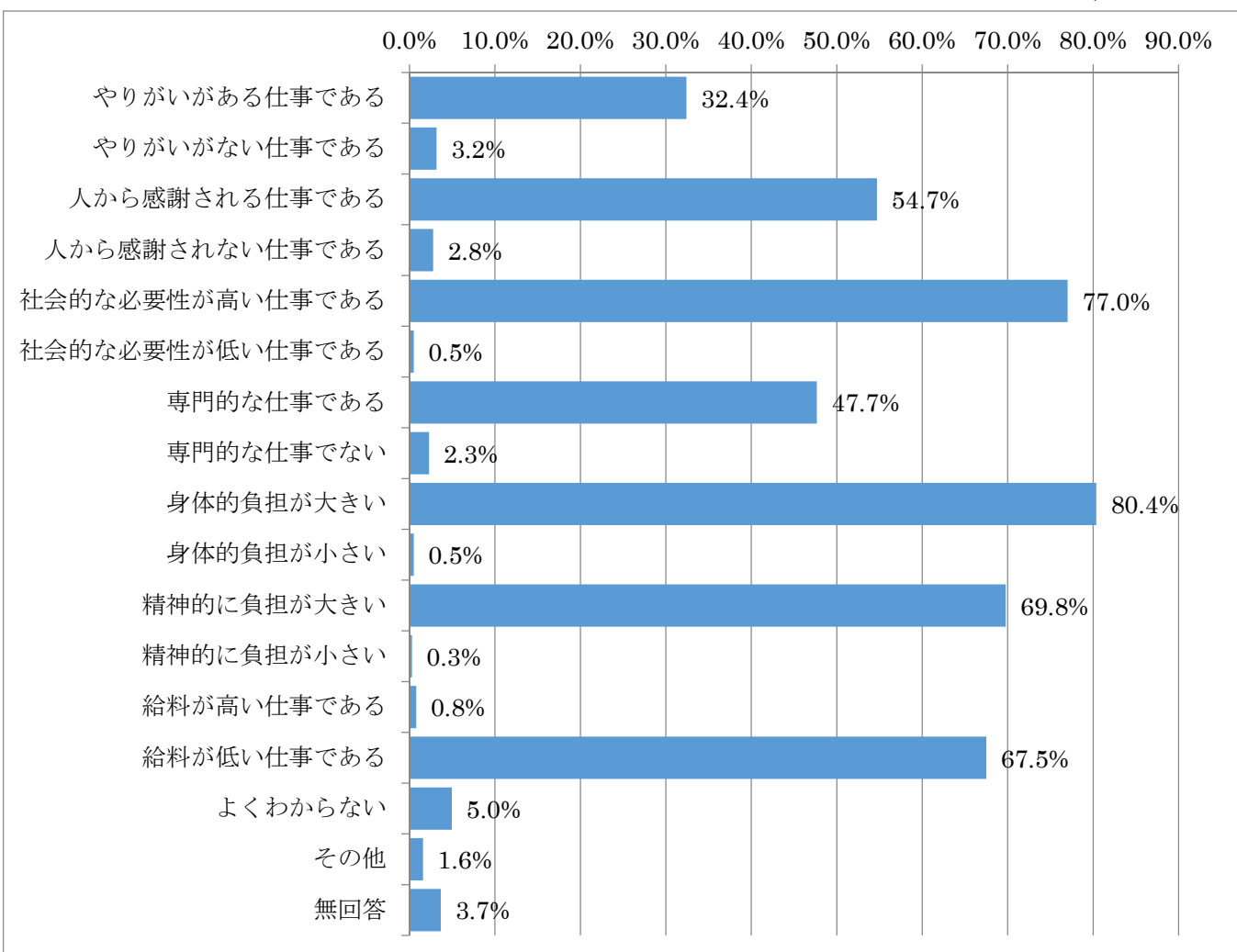
N=1,009



問 33 あなたは、介護の仕事について、どのようなイメージをお持ちですか。

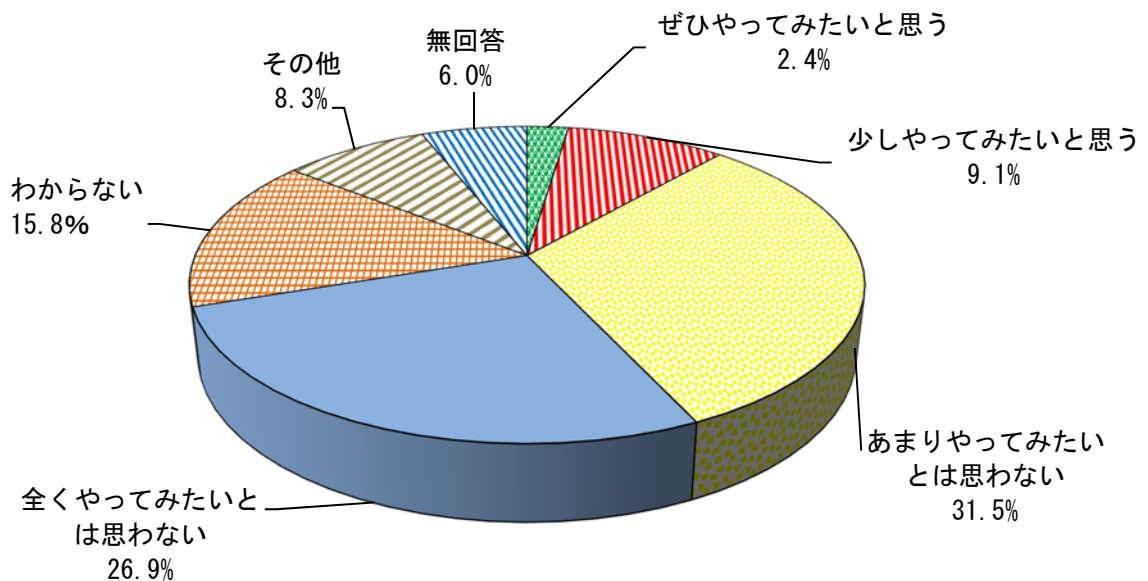
(〇はいくつでも)

N=1,009



問 34 あなたは、介護の仕事をやってみたいと思いますか。(○は1つだけ)

N=1,009



問 35 介護人材の確保に向けた施策について、ご意見があればご自由にお書きください。

- ・専門性が求められる仕事であり、待遇（給料など）を保障すべき。あまりにも低賃金であるので、若い人が希望を持って介護の仕事ができるような施策を求めます。
- ・人に対して感謝の気持ちがあれば介護する人も楽しいでしょうね。ホームでも一日楽しく働ける所があれば人も集まると思います。
- ・介護職の賃金値上げ。休暇の取りやすさ。資格の取得しやすさ。腰痛の通院時の医療費の軽減。取得後の登録料の値上げ。
- ・中学生・高校生等に介護の仕事を授業の一部としてグループで体験してもらい、生活の中での身近な活動であることを理解してもらって、卒業しても何らかの関わりをもってもらえたら嬉しい。
- ・ITを使った効率化や人材のマッチングを通して負荷軽減。将来的にはIoTによる効率化により需給推計の見直す観点も必要ではないか。

ほか